

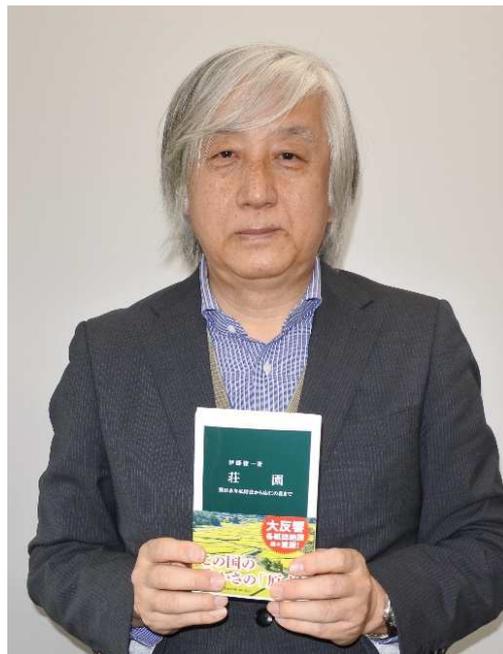


## 人間学部の伊藤俊一教授(日本中世史)の著書『荘園 墾田永年私財法から応仁の乱まで』が「新書大賞 2022」の3位に選ばれました

本学人間学部の伊藤俊一（いとう・としかず）教授（日本中世史専攻）の著書『荘園 墾田永年私財法から応仁の乱まで』（中公新書）が「新書大賞 2022」の3位に選ばれました。

中央公論新社が主催する「新書大賞」は、1年間に刊行されたすべての新書から、最も優れた新書を選びます。第15回を数える「新書大賞 2022」では、2020年12月～2021年11月に刊行された新書を対象に、有識者、書店員、各社新書編集部員、新聞記者など105人が投票。その結果、硬派の本としてはベストセラーと言える売れ行きで話題になっている『荘園』が3位に選出されました。

荘園とは、公家や寺社、武家など支配層の私有農園のこと。本書を読むと、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の時代の土地所有構造もよく分かります。



伊藤教授の略歴	1958年、名古屋市生まれ。63歳。愛知県立旭丘高校卒業。1982年、京都大学文学部史学科国史学専攻卒業、1990年、同大学院文学研究科国史学専攻博士課程修了。博士（文学）。1992年、名城大学教職課程部講師、1995年、同部助教授、2002年、同部教授、2003年、人間学部教授。2006～2009年、人間学部長。著書に『室町期荘園制の研究』、共著に『気候変動から読みなおす日本史4 気候変動と中世社会』ほか。
本学サイトの紹介記事	<a href="https://www.meijo-u.ac.jp/sp/sodate/20220124_26904.html">https://www.meijo-u.ac.jp/sp/sodate/20220124_26904.html</a> 
伊藤教授のコメント	たくさんの人に読んでいただいているだけでなく、今回、出版のプロの方々に評価してもらってうれしい。荘園の歴史を再構成した本書を手に取り、荘園に興味をもってもらえるとありがたい。
新書大賞のサイト	<a href="https://chuokoron.jp/shinsho_award/">https://chuokoron.jp/shinsho_award/</a>
写真提供	下記のアドレスまでメールでお申し込みください。

<発信元> 名城大学渉外部 広報課

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

TEL:052-838-2006 FAX:052-838-9494 MAIL:kouhou@ccmails.meijo-u.ac.jp